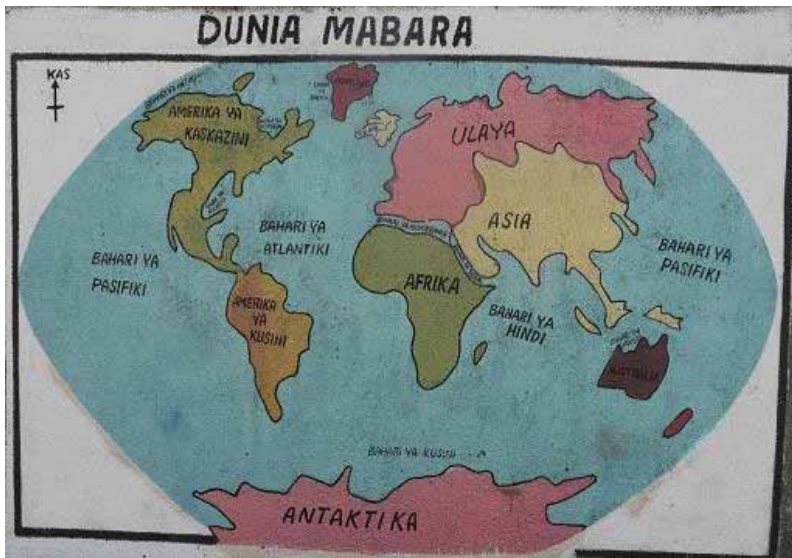




INDEX

- | | |
|---|---------------------|
| 1) 今月の1枚: 「タンザニアでの世界地図」 | 3) クリコニ?: 7月のできごと |
| 2) JICA in Tanzania: 「農業が一番!」
タンザニア政府予算09/10年度 | 4) 所長の目: 「パモジャお別れ号」 |
| | 5) カリブ・クワヘリ |

(1) 今月の1枚: 「タンザニアでの世界地図」



ダルエスサラームの小学校の壁に描かれている世界地図です。ご存知のとおり、自国が中心に描かれるので、アフリカ大陸が真ん中に来ています。

タンザニアの小学校の多くでは、世界地図だけではなく、タンザニアの地図、地域の地図、また人体の解剖図、花の各部の名称など、さまざまな絵が壁に描かれていて、教材の少ない学校での子供たちの教育に役立っています。

上の世界地図では、イギリスは描かれていますが、日本は見当たらないようです。大学生になっても日本がどこにあるのかわからない人も多いようですが、日本人でもタンザニアがどこにあるかわからないことが多いことを考えると、「オタガイサマ」ですか……。人の交流の大切さを感じます。

(写真撮影: 平成21年度教師海外研修参加教員)

(2) JICA in Tanzania: 「農業が一番!」 「タンザニア政府予算 09/10 年度」

毎年6月は、タンザニア全土が国家予算の話題で賑わいます。政府系テレビでは国会中継が優先され、普段の人気番組も時間がずらされたりします。今年の世界予算のポイントを、萩原企画調査員(援助協調・公共財政管理担当)が紹介します。

6月11日タンザニアの首都ドマの国会にてムクロ財務大臣が2009/10会計年度の政府予算案を発表し、国会での審議を経て18日に可決しました。その標語はずばり、「**キリモ・クワンザ**(スワヒリ語で農業一番)!!!」

この第一優先の農業への予算を含んで、タンザニアの政府予算は対GDPで3%拡大という景気の良いものでした。今年の世界予算のポイントとして、はこの農業一番と世界的な経済危機への対策である支出(歳出)の部分と、「でもどうやって資金を捻出するの?」という収入(歳入)の部分をまとめてみたいと思います。

タンザニアの景気

昨年はタンザニアの経済にとって、課題の多い年だったといえるでしょう。年初からガソリンの高騰と食料品価格の上昇で、インフレが進みました。途中からはアメリカからの不景気が始まり、タンザニアでも主要輸出品の綿花が売れ残ったり、コーヒーや紅茶の値段が下がったりして、景気が悪化したようです。

このような経済環境の中で、キクウェテ大統領は予算発表の前日に、景気刺激策を発表しました。そこにも農業第一を反映して食糧増産(200億シリング)、農業開発銀行の設立(400億シリング)、肥料補助金(1,170億シリング)、戦略的穀物備蓄(200億シリング)などの農業関連の施策も含まれています。今年の世界予算はこの経済刺激策も含んでいるとても刺激的なものとなりました。



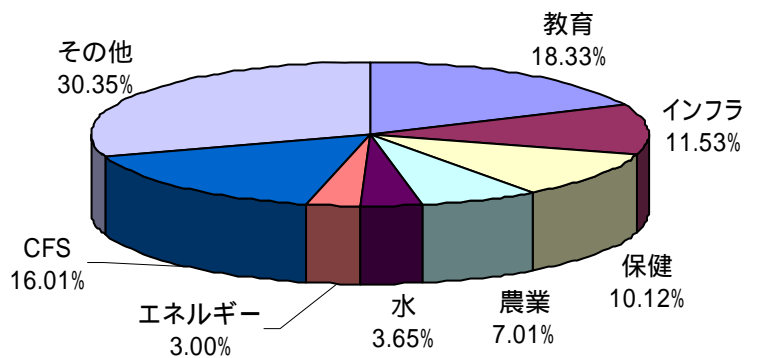
歳出面

政府の支出を歳出といいます。どの国でも政府の支出は生活やビジネスに大きな影響を及ぼしますが、タンザニアでも同様です。09/10年度のタンザニア政府予算の規模は9.5兆シリングとなり、昨年の7.5兆シリングから32%増のジャンプアップです。現在政府は貧困削減・経済成長を促す戦略(ムククタ)を実施中ですが、その優先分野である保健、教育、農業、水、インフラ、エネルギー・鉱業への予算の優先配分は変わらず行うようです。

しかし優先分野の中では農業第一を反映して、農業関連予算(農業、インフラ、水)へ優遇配分されることとなります。農業セクターには金額ベースで30%増の予算が配分され、肥料、種、農業むけ資金の供給体制の拡充、戦略的穀物備蓄(食糧の需給調整のための備蓄)の拡充、インフラ(農村道路、灌漑、備蓄施設)などの拡充が盛り込まれています。さらに、地方自治体での税の改革や畜産業を促すような VAT および物品税などの改革が発表されています。

他にも、世界的経済危機の影響緩和のための財政政策、インフラの整備、経済危機の影響をもっとも受けた分野での雇用の確保、食料の安全保障の確保、社会的サービスの拡充、土地調査への資金配分、遠隔地への人員配置の促進、投資を促す環境整備を行うこととしています。

FY09/10 優先分野予算配分



歳入面

この大きな歳出を支えるためには、入ってくるお金の計画も立てなくてはなりません。お家でも稼ぐことを考えずに使うことだけ考えるわけにはいきませんから。しかしタンザニアに在住の方はお気づきかもしれませんが、なんと付加価値税(VAT)の減税が行われました(20% → 18%)。これは東アフリカの隣国とくらべても高かった VAT を下げたものです。ただ税金はもっとたくさんとらなければなりません。税の対象をひろげるために、今まで入っていなかった家賃収入なども税の対象としたり、付加価値税を免除されている NGO や宗教団体の、その特例措置を廃止するという案も提案されました。(この特例廃止については非難轟々で政府は撤回しました。)他にはお酒、ソーダなどの物品税が少しあがっています。私の家の近くのソーダ屋も一本 400 シルから 500 シルにあがりました。理論として、税金は広く浅く取るのが良いので、改革は良い傾向ですが、これで政府は必要な歳入が得られるのか、課題は残ります。なお、その他に歳入の不足分を補うために国内借入が多くなることとなりました。援助については昨年なみの33%を予定していましたが、世界銀行などから、支援の増額が発表されていますので、援助の比率はすこし増えることとなりそうです。

最後に

タンザニアには経済危機はどこ吹く風、というわけではないですが、経済危機対策を含めて、財政支出を大幅拡大することとなりました。75%の人が農業に従事しているというようにタンザニア経済にとって農業は大きな課題です。今年の農業一番予算について人々の受けはいいようですが、本当にタンザニア農業の課題を克服するのが注目されるところです。



(3)く・り・こ・に? 7月のできごと

ここでは、7月の JICA の活動を紹介します。Kulikoni? とはスワヒリ語で「何があったの?」の意味です。Karibuni! (ようこそ!)

7月6日:「アジアの経験をムククタ・レビューへ」ワークショップ

タンザニアの国家開発戦略「ムククタ」(成長・貧困削減国家戦略)。来年の改訂に向けて、現在そのレビューが進行中です。ムククタ・レビュー関係者を対象に、アフリカ、とくにタンザニアにおける経済開発について議論するワークショップを JICA タンザニアで開催しました。

JICA 研究所の花谷首席研究員がアジアの経済成長の経験と教訓を共有する発表を行い、経済成長に向けた戦略の方向性などについて、参加者間での活発な意見交換が行われました。

当日は予算国会で多忙な中、財務省、大統領府計画委員会からも局長級が参加、ドナー・研究機関からも 15 名参加するなど、非常に盛況。アジアの経験の共有という日本ならではのテーマで初めて JICA 主催で開催したワークショップでしたが、予想以上に反響がよく、各国ドナー、タンザニア政府関係者の期待が窺われたものとなりました。

(援助協調担当 西村所員)



7月24・25日:青年海外協力隊 司書部会ワークショップ

2日間にわたり、ドマ州図書館にて図書館スタッフを対象に司書隊員でワークショップを行いました。

テーマは「児童サービス」。

子どもへの奉仕という概念が希薄なタンザニア(自説)。論説、お話会の実践、手法の解説と行ないましたがスタッフの胸に響くものあったかは未知数。

しかし、翌日「子どもの時間」にスタッフによる読み聞かせが自主的に実践されるまでに漕ぎ着き、何はともあれ開催の意義は充分にあったと感じています。図書館における子どもへのサービスの必要性がスタッフに実感として根付くための第一歩であったと。

また私達にとっても、子ども達の笑顔が一つでも多く生まれ、想像という翼が育まれる一助となるべく取り組もうと前を向直す機会でもありました。

(20-1 司書隊員 久保智里)



(4)所長の JICHO :「パモジャお別れ号」

タンザニア事務所の升本所長が8月20日に離任をします。今月は次長の目ではなく、「所長の目」です。

まさか、このタイミングで皆様にクワヘリするとは夢にも思いませんでした。非常に残念ですが、諸般の事情により、このたび、日本に帰国することになりました。一年足らずの短い期間ですが、皆様には本当にお世話になりました。



無償資金協力に関するタンザニア政府との署名式での升本所長 (09年3月)

着任の挨拶に書かせていただいたように、私のアフリカでの生活は、1985-87年にケニアのキスム近郊の村で JOCV 理数科教師として滞在して以来、約20年ぶりとなります。国は違いますが、ダレサラームの車の多さやスーパーでの食料品などの豊富さは、当時からは考えられないほどです。世界の動きが早すぎるので、なかなか気づきにくいですが、この国も着実に発



展しているのだと思います。

一見昔ながらののんびりした雰囲気のある農村部にも、(当時存在すらしなかった)携帯電話やインターネットが普及しています。ほとんど外の世界にアクセスする手段がなかった当時に比べ、地方に住む人々が入手可能な情報量は飛躍的に増加しています。この変化が地方の開発にどのようにつながっていくのか、必ずしもはっきり分かりませんが、それでも将来に大きな希望を持たせてくれる変化だと思っています。

現在タンザニア事務所では、TICAD IVのフォローアップ(5年間でサブサハラ向けODA 倍増等)や統合後の新JICAとしての所掌業務の拡大(技協、無償、円借、ボランティア)を受け、この国に対する支援の重点分野である、農業、インフラ、ガバナンスを中心に積極的に案件を形成しているところです。多様な援助手法の有機的結合、成果の重視、そして世界最先端ともいわれる援助協調、開発協調の枠組みを活用しつつ、新 JICA の方針である3S、「援助の迅速な実施(Speed-up)」、「援助効果の拡大(Scale-up)」、「援助の普及・展開(Spread-out)」の推進を図っています。

日本の協力が、タンザニアのより良い開発のために、しっかりと貢献できるよう、事務所一丸となって日々努力しているところです。タンザニアが、この国の良さを失わず、タンザニアの人々一人一人が、より幸せになれるような国になって欲しいと心から願っています。



タンザニア事務所での送別会(クワヘリ・パーティ)

(5)カリブ・クワヘリ ~ようこそタンザニアへ! お元気で! さよなら~

~ !! ようこそ !! ~

新しく電力セクターでの技術協力が始まりました。
「効率的な送配電システムのための能力開発プロジェクト」の業務調整員として赴任した小田桐久夫さんです。

飛行機を降りたとたん、土の匂いが鼻腔をくすぐりました。“アフリカに戻ってきたんだ!”

十数年振りのアフリカの大地は、まるで時間の流れを忘れてしまったかのように、あの時と同じように優しく私を包んでくれました。国際協力の最初の一步をアフリカで踏み出した私にとって、このタンザニアの地は特別な思いがあります。国がずいぶん良くなったとはいえ、まだこの地では協力できる事柄が山積みです。こんな私ですがタンザニアの人々の力になれば幸いです。

私の仕事は、タンザニアの電力事情改善のための TANESCO(タンザニア電力供給公社)を協力対象機関とした送配電システム人材育成プロジェクトで研修機能の強化とプロジェクトの調整業務です。

安定した電力供給は、この国の産業・経済のみならず、タンザニア国民の生活の基盤を形成するものです。いつでも安心した生活ができるような環境を整えるため、これまでの経験を活かしていくつもりです。



協力隊調整員の竹下恵さんが、二年間の任期を終えて帰国します。

別の仕事でナイロビにいた時はカージャック情報が一日に何回も流れる無線機を欠かさず小脇に抱え、端折った感じのスワヒリ語で暮らしていたので、DARに着いてのんびりとした暮らしの中で聞いたことのないスワヒリ語『Bila samahani!』と聞いただけで涙が出そうなくらい感動していました。それから早2年と1ヶ月、関係者の皆様方には大変お世話になりました。

念願だった丁寧なスワヒリ語習得には手が届かず、未だ周囲のタンザニア人から完璧な言い回しに直してもらっていますが、長い長い挨拶に慣れ、温和にやっていくスワヒリ生活のコツが少しわかり、良きタンザニアの人々に出会えた貴重な経験でした。多くの隊員に接し大活躍の活動現場のお手伝いも出来てよい機会に恵まれたと思っています。

皆様と世界のどこかでまたお会いできることを期待して、その時にまた楽しいお話が出来ることを確信して・・・Twonane tena! 本当にどうもありがとうございました。

皆様、これからもお元気でお過ごしください。

編集注:『Bila samahani!』は、『Samahani(すみませんが・・・)』の答えで、『すみませんなんて、言わなくて良いですよ』という意味で、一般的にタンザニアで使われている。

リレーエッセイ

～Rafiki yangu 私の友だち in Tanzania～

(20-2次隊 中野穂さん)

家の近所で、朝と夕方コーヒーを売っている Mzee。

未だに名前も知らないけれど、

赴任してから一番長い付き合いです。

私のつたないスワヒリ語を辛抱強く聞いてくれ、

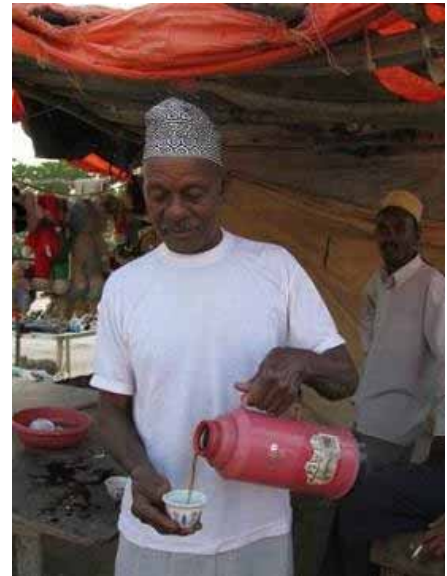
ザンジバル訛りに正し、

近所の若者達の無礼な行為を容赦なく叱りつける。

タンザニアで出会った人の中で「Shikamoo」が

一番似合う人であり、良い友達です。

夕方、彼の入れたコーヒーを飲む時間が癒しの時です。



次回は、タンガから浦和レッズの活躍を切実に願う富田さんをお願いします。We are Reds!

JICA タンザニア事務所: P.O.BOX 9450 Dar es Salaam

Tel: :255-22-2113727-30、 Fax: :255-22-2112976

<http://www.jica.go.jp/tanzania/>

パモジャ(Pamoja)編集部: 皆様からのご意見や、

Goodな情報の提供をお願いします!

adachifumiko.tz@jica.go.jp

お知らせ:

JICA タンザニア事務所の英語版ウェブサイト
がオープンしました。ぜひご覧ください。

<http://www.jica.go.jp/tanzania/english/>

